

美術 (F i n e A r t s)	1 年 ・ 半 期 ・ 1 単 位 ・ 必 修 5 学 科 共 通 ・ 平 田 裕 信	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標 (1)〕		
〔講義の目的〕 当講座では絵画・デザイン・イラストなどに加えデジタルによる表現と共に多様な美術表現の可能性を学ぶ。 実習と講義により美術への関心と美意識の向上に努める。		
〔講義の概要〕 創作表現を知り、画材を使い技法を模索して、美術についての関心と創作者(ものづくり)としての教養を身につける。		
〔履修上の留意点〕 授業内で集中した作品の完成、提出期限、まじめで丁寧な作業を重視する。 期限を過ぎた場合は提出点のみとなる。授業内での作品完成を目指す、自宅学習での完成を求めることもある。また、期限内に未完作品の提出を求めることもある。		
〔到達目標〕 与えられた課題についての理解と表現を養い、丁寧な作業で作品の美的調和への取り組みを目指す。美術についての関心と美的感性の向上を目指す。		
〔評価方法〕 作品への取り組みと期限内提出を基本に、課題達成の評価を A + (100 点)、A、a、B +、B (60 点) の 5 段階で評価 (80%) する。授業への取り組み・小テスト (20%) (原則として 3 年次以降での不可評価の解消は許可しない)		
〔教科書〕 〔補助教材・参考書〕 絵具などの画材は、個人負担を原則とする。教科書は使わない。課題プリント等配布する。画用紙などは共同購入する。		
〔関連科目〕		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	授業内容の説明 個々の表現力を見る	美術について説明 画材について説明 想像描写幾何形態	
第2週	描写・立体表現 課題1	鉛筆デッサン(鉛筆の削り方、持ち方) 画材(鉛筆、絵具)の歴史について 立方体と手を素材として描く	
第3週	同上	立方体を各人ケント紙で作成	
第4週	同上	空間表現法—東洋と西洋の差異 遠近透視図法の表現の試み 校内写生	
第5週	色彩による表現 課題2	前課題の講評 立方体による色彩表現	
第6週	同上	色彩学の基礎学習(色彩構成)とその活用と色の調査 3種の立方体を素材として色彩構成	
第7週	同上		
第8週	同上	作業後に提出、講評	
第9週	デジタル表現 課題3	校内風景写生(鉛筆スケッチ)に画像処理ソフトで着色 デジタル表現のための説明	
第10週	同上	デジタル表現による実習、作画、ポストカード、 ポスター、アニメなどCGによる制作	
第11週	同上		
第12週	自由表現 課題4	自分の好みのテーマを選び作品にする。	
第13週	同上	(各個人の多様な表現意欲を育てるための表現素材や 資料の提供に便宜をはかる)	
第14週	同上		
第15週	まとめ	小テスト、鑑賞	

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)